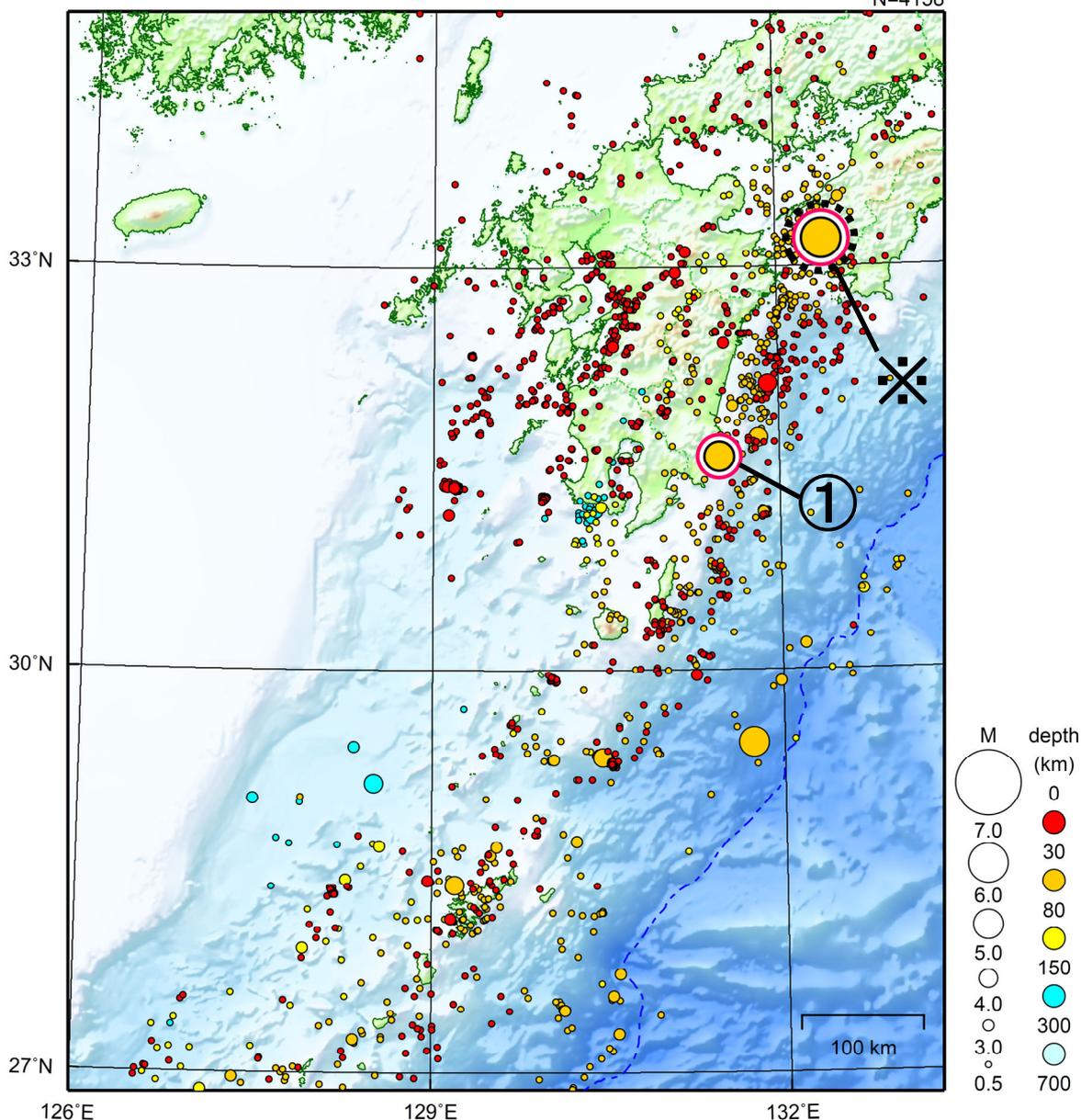


# 九州地方

2024/04/01 00:00 ~ 2024/04/30 24:00

N=4158



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

① 4月8日に大隅半島東方沖でM5.1の地震（最大震度5弱）が発生した。

※で示した地震については近畿・中国・四国地方の資料を参照。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

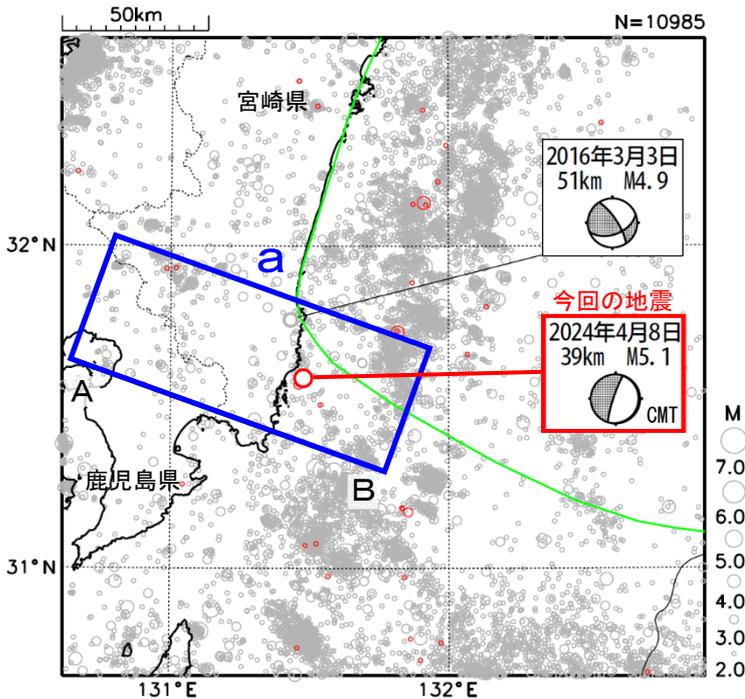
# 4月8日 大隅半島東方沖の地震

## 震央分布図

(1997年10月1日～2024年4月30日、  
深さ0～90km、 $M \geq 2.0$ )

2024年4月の地震を赤色○で表示

緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

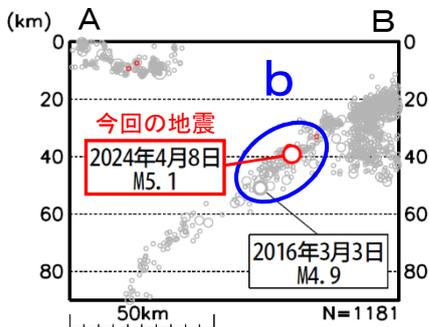


2024年4月8日10時25分に大隅半島東方沖の深さ39kmでM5.1の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

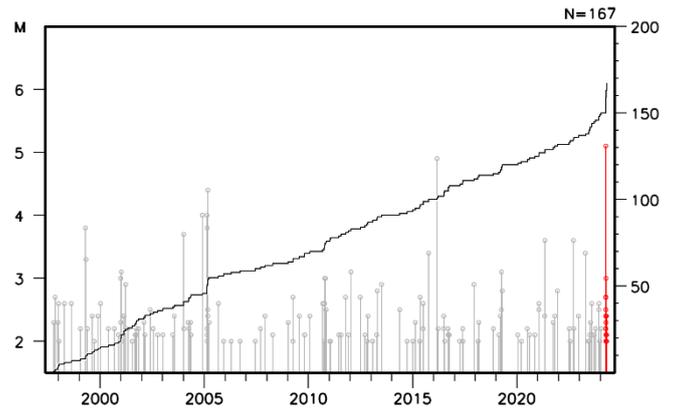
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では2016年3月3日にM4.9の地震（最大震度4）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。1961年2月27日に発生したM7.0の地震では、死者2人、負傷者7人、住家全壊3棟などの被害が生じたほか、土佐清水で50cm、細島で45cm、油津で34cmの津波を観測した（「日本被害地震総覧」による）。

## 領域a内の断面図（A-B投影）

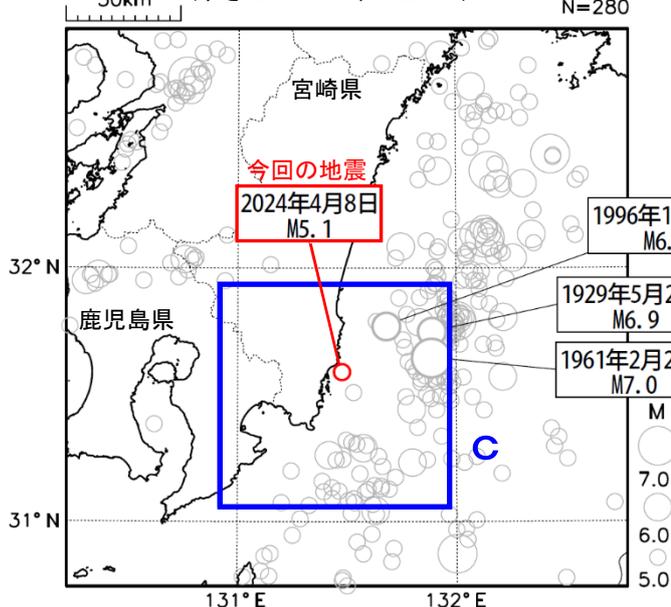


## 領域b内のM-T図及び回数積算図

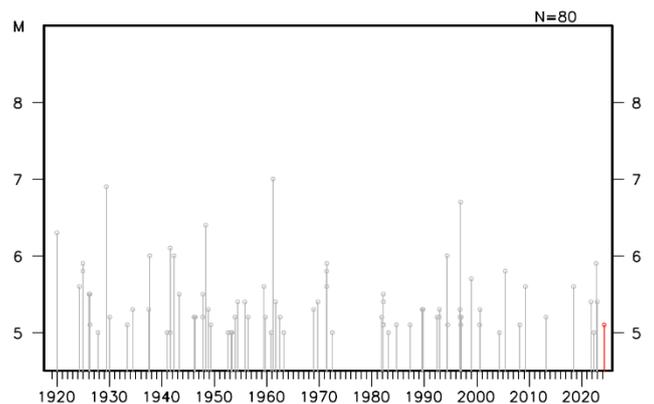


## 震央分布図

(1919年1月1日～2024年4月30日、  
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$ )



## 領域c内のM-T図



気象庁作成